



こんなことあったよ！ のしろ白神ネットワークの活動レポート

令和元年 9 月 20 日（金）

日本風景街道大学ニセコ羊蹄キャンパス参加 編

毎年ご案内をいただく日本風景街道大学。今年はニセコ羊蹄キャンパス(ニセコ町民センター)での開催、テーマは「シーニックバイウェイと観光地域づくり」。2 月にご来能下さった北海道開発技術センターの中村さんにお尋ねしたところ、風景街道コミュニティに参画していなくても大学関係者でも問題なしとのことでしたので、初めて参加させていただきました。

午前中はシーニックバイウェイ北海道推進協議会の議事進行を拝見(資料は HP にて公開)。協議会委員により新たな登録申請ルートやベスト・シーニックバイウェイプロジェクト 2018 が審議されました。北海道では、内地の風景街道とは違って仮採用と本採用により、候補ルートに申請し指定されてから数年、更に熟度を高めてからでない指定ルートへの申請はできません。指定ルートも 5 年を目安に有識者等による視察を受け、意見交換や自主的な点検・改善をしながらハード・ソフトのブラッシュアップをはかっています。

そうした中で景観にそぐわないと判断され、トンネル入り口等で見かけるクッションドラム(黄色地に紅白の市松模様)の色を変更した箇所もあるそうです。国道 7 号の WPC ベンチ脇の衝突防止ポールも夜間に判別できれば良いのですから、オレンジ色である必要はないなと思いました。

また、表彰制度も内地とは異なり、各ルート自らがエントリ部門を選びます。活動団体賞では各ルートが自ルート以外に持ち点を配点して投票し、その結果も公開されています。

午後のニセコキャンパスは国交省道路局環境安全・防災課長・渡辺さんの話題提供からスタート。今年度から始まる内地の取り組み-ポータルサイトのリニューアルや表彰制度-のほか道路協力団体制度の改善と拡充を熱く紹介。北海道に追いつけるようこれから頑張ります！が心強かったです。

ニセコ町長・片山さんや前北海道局長・和泉さんのお話は、朝ドラの開拓者魂を思い出させるもので、ニセコの観光地域づくりもシーニックバイウェイ北海道も地域と行政がともに汗を流し、知恵を出して取り組んでおられる結果なのだと感じました。

風景街道の可能性を改めて認識するとともに、大変勉強になった一日でした。中村さん、開発局の上村さん、会場内外での丁寧なご説明やご案内をどうも有難うございました。

文：渡辺 千明

北海道開発局 HP:

[https://www.hkd.mlit.go.jp/ky/kn/dou\\_kei/splaat000001q1m.html](https://www.hkd.mlit.go.jp/ky/kn/dou_kei/splaat000001q1m.html)



会場入り口だけでなく町内各所にきれいな植栽を目にします。大小様々なかぼちゃもあちこちにごろごろしていてハロウィンが近いことを感じます。



会場は椅子席含め満席。ご来能下さった石田先生や函館の折谷さん、開発局の方々のほか日南海岸きらめきラインの谷越さんにもお会いすることができました。



ニセコの野菜たっぷりのお弁当 1 千円。外では開発局の道路占有許可済み車両のシーニックバイウェイキッチンカーがコーヒーを販売していました。



雑誌ページを活用されたというルート紹介(上)や説明パネル(下)も見やすくとてもきれいです。